

2023 年度 卒業研究 案内

国際都市計画・地域計画研究室（瀬田研究室）

[Website] <http://www.urban.t.u-tokyo.ac.jp/>

【指導教員】

瀬田史彦（准教授 国土・広域計画、地域開発、グローバル都市論）

【研究室の特徴と研究テーマ】

自ら問題を立て、その解を探索するという姿勢を重視します。各自の問題意識を尊重したうえで、指導教員と相談する中で具体的な研究テーマを決定するプロセスを根気よく続けることが、当研究室の特徴です。幅広い視点をもちつつ、具体的に、都市や地域の現象や計画課題について考えてみたいという人を歓迎します。

教員は当座、私一人ですが、上記のような自主性を重んじつつ、親身になって指導します。また研究室に所属する大学院生・留学生、および多くの社会人大学院生が助け船を出してくれることもあるかもしれません。

【教員の研究テーマ】

指導にあたる教員の現在の主な研究テーマは次の通りです。研究テーマを考える上で参考としてください。

瀬田史彦

- ・国土・広域の政策論
 - － 国土計画・ランドデザインの研究、国土構造（一極集中・多極分散）の研究、地域格差論、広域連携
- ・グローバル都市論
 - － 巨大都市論、多国籍企業立地論、PPP（公民連携）、都市の集積とイノベーション
- ・人口減少局面のまちづくり
 - － 公共施設・インフラの統廃合・再編、空間マネジメント、コンパクトシティ、「創造的再生」
- ・都市計画・都市開発分野の国際比較・国際協力
 - － アジア・欧州諸国など比較都市計画制度論、日本の都市計画技術の海外展開（土地区画整理、TOD等）

【国際都市計画・地域計画研究室・説明会予定日時】

- 1回目 2023年4月11日（火）12時20分ごろから
- 2回目 2023年4月14日（金）12時20分ごろから
- 3回目 2023年4月19日（水）12時20分ごろから

※いずれも工学部14号館9階913号室で、対面で行いますが、オンラインを希望の方は、以下のメールアドレスにてご希望頂ければハイブリッドで開催します。その場で食事をして頂いても構いません。

お問い合わせ：瀬田 seta@urban.t.u-tokyo.ac.jp

★国際都市計画・地域計画研究室の過去の卒論題目一覧（城所元教授とともに指導）

2022 年度

- ・榎原 康己「地域鉄道の維持のためのガバナンス—JR 姫新線におけるケーススタディを通じて—」
- ・山田 智貴「地方分権改革を踏まえた都市計画の広域的調整の実態と課題に関する研究—都道府県の関与に着目して—」

2021 年度

- ・山本 航平「地方自治体における創造都市政策の比較研究—政策目的と内発性に着目して—」
- ・篠原 周太郎「地方都市における図書館立地の実態と課題：中心市街地における施設複合化を景気とした集合知の拠点としての可能性」
- ・豊田 哲平「木造木質建築の拡大可能性の検討：中・大規模建築物の設計者の意図に注目して」
- ・古川 翔「アウトドアスポーツツーリズムの振興に関する研究—推進組織としての地域 SC、DMO の機能に着目して—」

- ・山口 実優「知覚的指標を踏まえた大都市主要駅の地下通路空間の魅力向上に関する考察」

2020 年度

- ・加藤 圭悟「新型コロナウイルス感染症禍における利用者の滞留行動からみた都市公園のサードプレイスの利用に関する研究—民間事業者による収益施設が設置された都市公園を事例として—」
- ・川本 菜央「水戸市における場所への愛着形成と中心性の認識構造に関する研究—中心市街地活性化の観点から—」
- ・古本 美帆「スポーツまちづくり論：自治体の取り組み実態と課題」

2019 年度

- ・春田 秀輝「経営理念からみる共有型オフィスの経営スタイルと立地に関する研究」
- ・上原 翔「地域公共交通政策における自治体間の連携に関する研究」
- ・高松 未来「屋台の立地規制が移民の就労機会に与える影響—バンコクにおける屋台のケーススタディを通じて—」

2018 年度

- ・一之瀬 彬「東京都の大規模開発における CO2 排出削減の実態と今後の展開に関する考察」
- ・新田見 優輝「縮小都市の再生施策に関する研究—ドイツ・ルール地方を事例として—」

2017 年度

- ・小原 寛士「地方都市圏における産業振興政策の現状と展望—九州の半導体関連産業を事例として—」
- ・田 瀚「中国大都市群の発展プロセスの研究—京津冀都市群と長江デルタ都市群を事例として—」
- ・樫尾 祐美「自治体による電力事業の現状と持続可能な地域づくりにおける意義」
- ・泉 健介「集住地域における外国人住民と日本人住民の関係とその規定要因に関する研究」

2016 年度

- ・清田 万李子「街とつながる場としての広場の意義についての研究」
- ・後藤 夢乃「国際競争時代のオフィスの在り方—新事業創造を目指す東京のオフィスに着目して—」
- ・桜井 貴央「雇用創出事業における自治体間連携の実態に関する研究—定住自立圏構想に着目して—」
- ・那須 雄太「オートバイ都市ホーチミンシティの将来都市構造に関する研究」

2015 年度

- ・上野 佐高「創業支援における自治体の主体性の必要性」
- ・赤川 彰「TOD の観点からみたジャカルタ BRT 駅周辺開発の評価」
- ・北川 峻「ティアワ SEZ 開発にみる日本の地域開発支援の変容に関する研究」
- ・何 瑤「地方都市のまちなかにおける市街地更新と人口移動に関する研究」
- ・矢田 絃馬「あそび空間へのアクセシビリティがこどものまち空間評価およびあそび行為に与える影響」
- ・チャン サウイー「外国人労働者の居住空間とその可能性」

2014 年度

- ・西牟田 章士「国内離島における地域振興事業の字体と今後の展開に関する研究」
- ・竹内 啓「産業集積初期の地域における産業クラスター政策のあり方に関する研究」
- ・山崎 大夢「郊外の駅前立地する大型商業施設と地域社会との相互の関係性について：住民の地域愛着に着目して」
- ・笹岡 翠「東京におけるムスリム礼拝空間の創出に関する研究」
- ・野呂 岳史「東京圏における高齢化の実態と地域における高齢者活動の支援事例に関する研究」
- ・島田 和輝「発展途上国の都市部における公園のあり方に関する考察：ピエンチャン・チャオアヌボン公園のケーススタディを通じて」

2013 年度

- ・福田 峻「国土レベルでみた人口移動パターンに関する研究—超長期的な産業構造の変化の観点から—」
- ・本島 慎也「人口減少下における大都市圏周縁部の二面性に関する研究—奈良県桜井市を事例に—」
- ・大里 望「バングラデシュ・ダッカにおける気候変動下の土地利用計画に関する研究」
- ・杉江 次郎「持続可能なコミュニティ・ビジネスとそれを支援する制度に関する研究—福島県いわき市を事例に—」
- ・村田 実紗「看護・介護に従事する在日外国人のライフコースと定住性に関する研究—多様性を受け入れる社会の構築に向けて」

2012 年度

- ・大塚 敦史「ニューヨークのデジタル都市政策の展開」
- ・岩田 大輝「都心部における道路拡幅による近隣型商店街の変遷とその影響—近隣交流の場としての機能に着目して—」
- ・北島 遼太郎「タイ大洪水後の日系企業の立地動向に関する研究—タイ政府による復興開発戦略との関連で—」
- ・竹内 一紘「都市における社寺の役割と周辺環境についての一考察—比叡山系社寺の祭りと自然との関連に着目して—」

(以上)